

富士見市高齢者 見守りネットワーク

高齢者見守り ネットワークとは

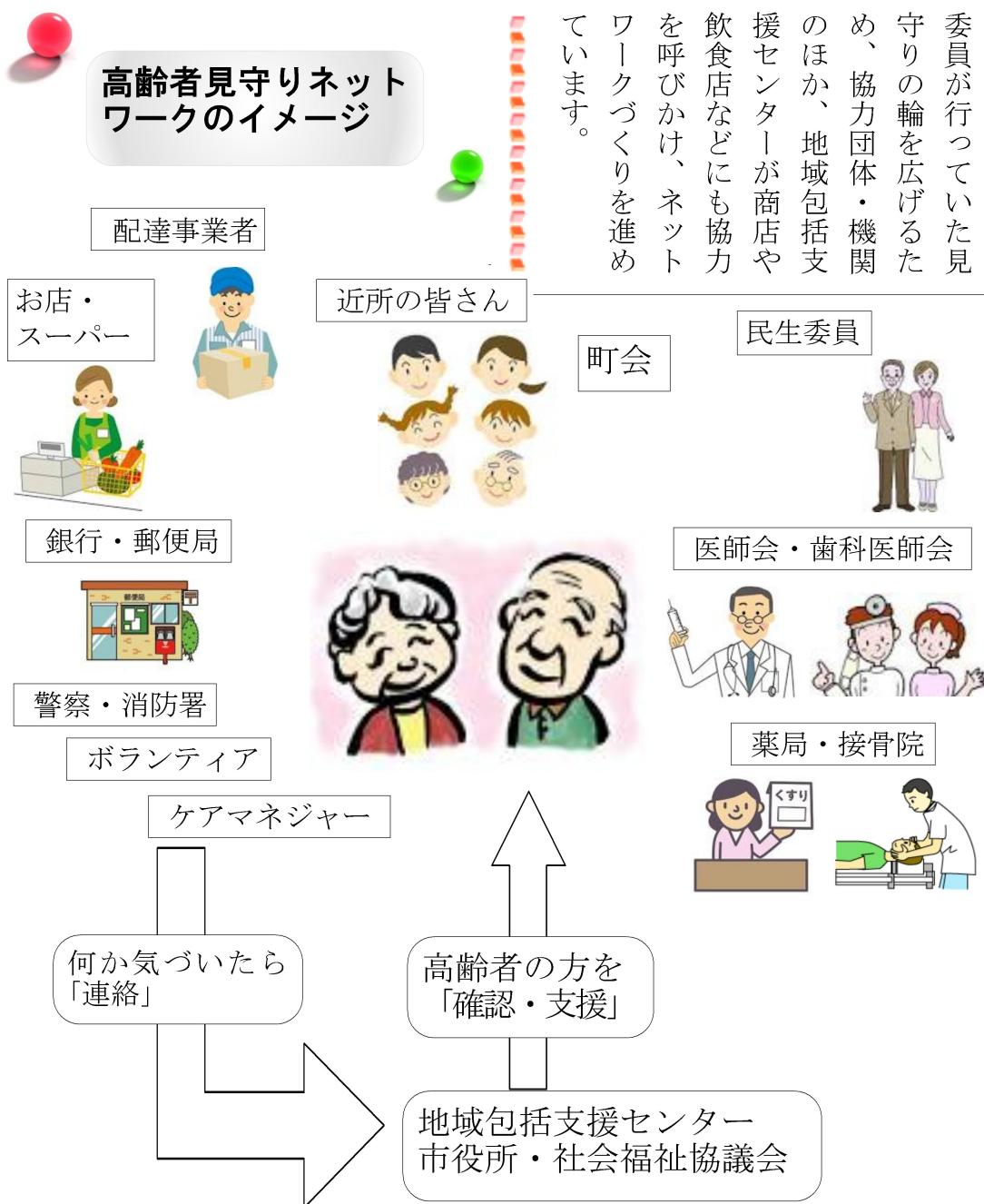
地域の中で、高齢者の方を気にかけて、見守ったり、「ちよつと気がかりなこと」に気付いたら、地域包括支援センターや市役所の高齢者福祉課などへ連絡し、その高齢者の方を、支援につなげていく仕組みのことです。

富士見市では、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、支え合いのまちづくりを目指しています。今まで町会や民生

現在、富士見市の65歳以上の高齢化率は約21%、南畑地区は約25%となっています。今後も大幅に高齢者の比率が増加していく見通しのなかで、市では今まで「あんしんネットワーク」として活動してきたものを、平成22年8月より「高齢者見守りネットワーク」として、見守りの輪を広げていくためのネットワークづくりを進めています。今回は、この高齢者見守りネットワークについて高齢者福祉課にお話を伺いました。

(担当/新井博海、三塚好江、新井紀子、三瓶雅人、加藤和代、武井香代子)

高齢者見守りネットワークのイメージ



「何かおかしいな」 チエツクリスト

日常生活の中で、近所に住んでいる高齢者について「あれ、おかしいな」という小さな気付きが大切です。例えば、次のような高齢者の方が身近にいる、ちよつと気がかりなことがあるなど、心配なことがあったら地域包括支援センターや市役所などの相談機関へご連絡をお願いします。

- 郵便物や新聞がポストにたまっていない
- 夜になっても部屋の明かりがつかない
- 洗濯物が干されなくなつた
- 外出している姿を見なくなつた
- 家を訪ねても顔を出してくれない
- 不自然な格好で外出している
- 見慣れない人が家に入り出すようになった
- 顔色も悪く、痩せた気がする

高齢者見守りネットワーク(協力機関)が 機能した事例

- 高齢者を大声で怒鳴る声が聞こえる
- 顔や腕などに不自然なあざが多くなつた
- 周囲となじめないよう感じる
- 話をすると、知り合いがなく寂しいと悩んでいたなど

①スーパーでの例

「店内に不自然な服装の高齢者が」と連絡が入る。地域包括支援センターが行き、本人と話していると、探していたご家族と面談でき、介護サービスについて紹介した。

②新聞配達員さんの例

「2日分の新聞がたまっている」と連絡が入る。地域包括支援センターが行き、警察に連絡し、中を確認すると、家の中で動けなくなつてることが

③銀行の例

「キャッシュカードを無くした」といって、頻りに窓口を訪れる人がいるとの連絡が入る。地域包括支援センターが本人に対応し、ご家族に連絡を入れて、アドバイスをを行った。

※緊急な状況に気付いたときは、直接、警察に連絡したり、救急車を呼んだりした方が、良い場合もあります。

わかり、救急車を呼んだ。

高齢者世帯の現状

	65歳以上の 高齢者世帯	65歳以上の 単身世帯	総世帯数
南畑第1町会	66	29	359
南畑第2町会	132	77	486
南畑第3町会	51	30	283
南畑第4町会	49	26	280
南畑第5町会	61	43	203
合計	359	205	1611

平成24年7月31日現在の集計では、市内の総世帯数46356世帯に対し、65歳以上の高齢者世帯数は8955世帯で約20%、65歳以上の単身世帯は4730世帯で約10%となつています。

この南畑地域に限らず、高齢者だけの世帯や高齢者の単身世帯は増えていく傾向にあります。特に高齢者の単身世帯の方で認知症の心配のある方もいるため、地域の方々による見守りが大切になります。

取材を終えて

「遠い親戚より近くの他人」といいますが、見守りネットワークは、まさにこのことだと感じました。

特別な決まりごとではなく、挨拶を交わし、お近づきになって、「さりげない見守り」「さりげないおせっかい」をすることが大事ではないでしょうか。

「いつもと様子が違うな」と感じたなら、地域包括支援センターや市役所などへ知らせることも大切だと思えました。

連絡先
地域包括支援センター
むさしの
(TEL255-6320)

取材協力

高齢者福祉課



見守りネットワークの協力機関や協力事業所に貼られているステッカーです。

